

事務事業名	家庭教育学級及び家庭教育通信発行事業	担当	教育委員会 生涯学習課 生涯学習係
政策名	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～	施策名	5 青少年の健全育成
成果指標	名称	単位	2 年度実績
	家庭教育学級・思春期学級補助金額 家庭教育通信発行部数	千円 部	1,870 52,265
事業概要	<p>【家庭教育学級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に応じて、望ましい人格の形成を図るため、親として子育てに関する資質の向上を目的に開設した。 ・幼児や小学生を持つ保護者を対象とした学級を幼稚園12園、私立保育園6園、保育所4所、小学校14校全校に開設している。 ・中学生を持つ保護者を対象とした学級を中学校9校全校に思春期子育て講座（思春期学級）を実施している。 ・各学級の実施内容は、学級長（正副）運営委員（会計、書記等）等の役員と学級主事が、年間の事業計画を作成し、受講生を募集し事業を実施する。実施後報告書を作成。その他主催等の研修会への参加。 ・市の事務は、各学級からの補助金申請受付、審査、補助金決定通知、請求書受付、支払い（各5万円）、実績報告書受付、学級主事の委嘱、学級開設説明会等の実施。 ・合同家庭教育学級の実施内容は、家庭教育学級全体運営委員を、各家庭教育学級長の中から8名の学級長を選出し、家庭教育学級の全体的な運営や合同開講式について協議する。なお合同開講式時に学級活動紹介、作品展示等を実施する。 <p>【家庭教育通信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期における保護者などの考え方やしつけを内容とした「すこやか」（昭和53年度～）、小学校の時期における親の心構えやしつけなどを内容とした「のびる」（昭和48年度～）、中学生の個性を認めて親として適切な対応をとることを内容とした「めざめ」（平成3年～）がある。 ・3信とも「聞ける家庭教育」として幼稚園、保育園及び小中学校に就園、就学している保護者に発行している。 ・また、「すこやか・のびる・めざめ」及び各家庭教育学級の活動をまとめた「真岡市の家庭教育」を発行している。 ・編集委員については、「すこやか」6名（幼稚園、保育園関係者）、「のびる」6名（小学校関係者4名、自然教育センター指導主事1名、科学教育センター指導主事1名）である。「めざめ」については栃木県連合教育会へ依頼している。 		
2 年度実績・成果・課題	<p>【家庭教育学級】</p> <p>会議回数4回、家庭教育学級数36学級、思春期子育て講座回数7回 （思春期子育て講座については、市内中学校9校のうち2校が未申請であった。）</p> <p>長年、同様の実施方法で事業が継続されており、学級主事の負担が多いという意見が散見される。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から例年設けている開設基準等について一部緩和せざるを得ず、各学級においても例年より縮小した活動となった学級が多かった。今後、学級主事の負担について同様の意見が学がることが予想されるため、事業の実施方法について根本的な改善策の検討が必要である。</p> <p>【家庭教育通信】</p> <p>会議回数5回（内すこやか4回、のびる1回）、発行回数15回</p> <p>家庭教育通信ののびるについて、校長会より業務負担等の要因から小学校教諭を編集委員として推薦することが難しくなる可能性があるという提言がなされたため、他機関への原稿執筆の依頼する等改善策を模索する。</p>		
今後の方向性と具体策	<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>【具体的な改善案】</p> <p>【家庭教育学級】</p> <p>感染対策を講じた上で学級生の学習機会や成果の発表機会を確保できるよう、研修のオンライン化などコロナ禍に即した実施方法について検討する。</p> <p>【家庭教育通信】</p> <p>原稿執筆のみ外部機関へ委託する等、編集委員である教諭の負担を軽くする試みについて調査研究を進める。一方で、従来と同様に現場での経験を生かした執筆機会の維持を図っていく。</p>		